

あかぎ通信 No.7

第4回あかぎ会議、第2回あかぎ環境会議を開催しました

令和4年9月5日に県立赤城公園赤城ビジターセンターにおいて、「第4回あかぎ会議」「第2回あかぎ環境会議」を開催しました。

当日は地元住民の方を中心に総勢39名の方にご参加いただきました。

あかぎ会議・あかぎ環境会議の概要

- 1 開会・挨拶
- 2 基本構想の修正案の説明
- 3 質疑応答

日時：9月5日 10:00～11:00(あかぎ会議)
同日 14:00～15:00(あかぎ環境会議)
場所：赤城公園ビジターセンター
参加者：19名(あかぎ会議)
20名(あかぎ環境会議)

📷 会議の様子



会議の内容

令和4年2月～3月にかけて、県が実施したパブリックコメントで頂いた意見等や、同年5月に実施した「第1回あかぎ環境会議」で頂いた意見を踏まえ、**基本構想(修正案)について説明し、意見交換**を行いました。

主なご意見

- ・施設更新されることで、利用者増加が想定されるが、周辺道路の維持管理も適切に実施してほしい。
- ・現在、別々に開催している「あかぎ環境会議」と統合し、環境団体の方々とも話し合ってみたい。
- ・赤城エリアが本当に生き残っていくためにも、他の先行事例等から「成功談」「失敗談」について学びたい。

県立赤城公園の活性化に向けた基本構想を策定しました

県立赤城公園を活性化させ、持続可能な公園を目指すための「県立赤城公園の活性化に向けた基本構想」を策定しました。昨年度末に公表した原案に対し、パブリックコメント等により、たくさんの意見をいただいたことから、その内容を踏まえ見直し作業を行ったものです。

今後、この構想に基づき各種施策を推進し、多くの方に楽しんでいただける公園を目指します。

コンセプト・エリアマップ

コンセプト

生きがいやWell-Beingなど、これからの共感価値を取り込み自然環境の保全・保護に配慮した活用を図ることで、公園の魅力を引き出し、県民の関心を高める施策を構築する

#Well-Being #生きがい #Green&Relax

Akagi Well-Ground

赤城ウェルグラウンド

～自然を中心として、幅広い年齢層が楽しみ、地域の魅力を高める場を創出～

管理・運営ほか（ソフト施策）

- 循環型の自立生活圏を創出
 - 地域企業の困窮による地域経済の基礎化
 - Well-beingを特長可能コミュニティの可視化
- スマート文化経済圏の創出
 - データ連携から地域文脈を活かしたマーケティングによる活性化
- 官民共創プラットフォームの構築
 - 新たな民間事業者が参画しやすい観光整備
 - 住む人+働く人（民間事業者含む）による新たな枠組みの構築
 - 住む人+働く人による地域マスター制度
 - 住む人+働く人による滞在方法を提案する仕組み

施設整備（ハード施策）

- 遊休エリア（文教施設地区・厚生施設団地など）の活性化
 - 体験型宿泊機能の整備（キャンプ場など）
- ビジターセンターの再整備
 - 情報発信・観光案内機能を強化し地域周遊の窓口

▶ソフト・ハード両軸から実現する持続型循環の創出

エリアマップ



▶地域全体の回遊による地域経済の基礎化

施策提案

ソフト施策

循環型の自立生活圏を創出

▶Well-beingを特長可能コミュニティの可視化



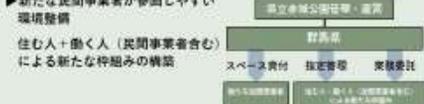
スマート文化経済圏の創出

▶データ連携から地域文脈を活かしたマーケティングによる活性化



官民共創プラットフォームの構築

▶新たな民間事業者が参画しやすい環境整備



▶住む人+働く人による地域マスター制度

▶住む人+働く人による滞在方法を提案する仕組み



ハード施策

Ⅰ. 体験宿泊機能の整備

▶遊休エリア（文教施設地区・厚生施設団地など）の活性化



赤城公園エリアで、自然に囲まれた大沼に面する特別な湖畔キャンプフィールド
赤城大沼のすばらしさを楽しめる特別な湖畔サイトを整備。野営体験を通じて、山頂エリア北西部の景観価値を構築。リピーターが多い安心感のある場所を創出する。

- 施設整備
- キャンプサイト（1泊2食以上）：自然環境に配慮し実施
 - 休憩場：自然環境、マッドパッド設置・飲料水・トイレ・シャワーなど
 - マニピュレーター、炊事場、トイレ、シャワーなど
 - 自然環境に配慮し実施し多様なキャンプイベント
 - 自然環境に配慮し実施
- 施設整備工事
→ 自然環境に配慮し実施、大沼周辺に、自然環境に配慮

Ⅱ. 情報発信・観光案内機能を強化し地域周遊の窓口

▶ビジターセンターエリアの再整備



「買う・遊ぶ・食べる・泊まる」が揃う赤城公園エリアのアウトサイドベース 地域店舗や住民を巻き込む拠点施設
赤城公園のコミュニティ基盤となる拠点施設、アクアサイドイベントを通じて、赤城公園エリア全体の目利手にする。観光案内機能・飲食機能も内蔵し、強い発信性・集客性を生み出していく。

- 施設整備
- 観光案内機能・飲食機能などの拠点施設での開設
 - 観光案内機能・飲食機能などの拠点施設での開設
 - 観光案内機能・飲食機能などの拠点施設での開設
 - 観光案内機能・飲食機能などの拠点施設での開設
- 施設整備工事
→ 観光案内機能・飲食機能などの拠点施設での開設

パブリックコメント実施から基本構想策定までの経緯

群馬県では、令和4年2月15日から3月15日までの30日間に「県立赤城公園の活性化に向けた基本構想」に係るパブリックコメントを実施し、137人の方々から357件のご意見を頂きました。

第3回あかぎ会議の実施

日時：2月10日
場所：前橋市赤城少年自然の家

- ・基本構想(案)を用いて要点を説明した。
- ・パブリックコメントの実施趣旨や、方法などを説明し、その他関連事業について情報共有した。



頂いた多くのご意見を受け止め、自然環境団体との意見交換(あかぎ環境会議)や自然環境調査を行いました。

あかぎ環境会議の実施(全2回)

日時：(1回目)5月12日
 (2回目)9月5日
場所：赤城ビジターセンター

第1回目：ワークショップの開催

第2回目：基本構想(改正案)の説明と意見交換



自然環境調査の実施

調査内容：県立赤城公園内の植物相調査

調査時期：5月下旬～9月上旬(計4回)

実施範囲：厚生団地・キャンプ場周辺および
覚満淵・ビジターセンター周辺



今後のスケジュール

※事業の進捗状況によって変更になる可能性があります

令和4年11月以降 | 測量及び設計を実施

発行・問合せ先

群馬県環境森林部自然環境課

電話：027-897-2754 メール：shizen-koen@pref.gunma.lg.jp